

令和4年度 事業報告

社会福祉法人しらさぎ福祉会

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 しらさぎ福祉会

《経営ビジョン》

家族と暮らしているようなアットホームな施設としての誇りを持ち、地域社会に貢献し続けるための組織体制と経営基盤を築く。

《基本理念》

誠心誠意を尽くし その人らしさを尊重し 貢献心を強く持つ

《基本方針》

- ① わたしたちは、懇切丁寧に接し、安全で安心、安楽な生活環境をつくります。
- ② わたしたちは、尊厳を守り、個別性のある心温かい支援を行います。
- ③ わたしたちは、地域社会とのつながりを大切にし、福祉向上のために貢献します。

1 法人経営の原則の遵守

法人は、定款第3条の規程に則り、社会福祉事業の主たる担い手として相応しい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、経営基盤を強化し、サービスの質向上及び事業経営の透明性の確保を図り、地域福祉の推進に努めることを宣しています。

令和4年度は、その実践として以下のとおり取り組みを行いました。

2 理事会・評議員会の開催

1) 理事会の開催

- ・第1回 令和4年6月6日(月)
 - 第1号議案 令和3年度事業報告(案)について
 - 第2号議案 令和3年度計画書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について
(監事監査報告)
 - 第3号議案 令和4年度定時評議員会への上程議案の確認について
 - 報告事項① 職員の入退職について
 - 報告事項② 理事長の職務執行状況について
 - 報告事項③ その他
- ・第2回 令和4年9月20日(火)
 - 第1号議案 令和4年度地域包括支援センター運営受託に係る方針について
 - 第2号議案 副施設長の設置(案)について
 - 報告事項① 理事長の職務執行状況について
 - 報告事項② 現況報告及び収支状況について
 - 報告事項③ 職員の入退職について
- ・第3回 令和4年12月12日(月)
 - 第1号議案 令和4年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算(案)について
 - 第2号議案 理事補充選任候補者の選定(案)について
 - 第3号議案 評議員選任・解任委員補充選任(案)について
 - 第4号議案 令和4年度第2回評議員会への上程議案の確認について
 - 報告事項① 令和4年度上半期決算報告について
 - 報告事項② 令和4年度上半期監事監査報告について
 - 報告事項③ 各事業所の現況報告について
 - 報告事項④ 職員の入退職について

- 報告事項⑤ 理事長の職務執行状況について
- 報告事項⑥ その他
- ・第4回 令和5年3月17日(金)
 - 第1号議案 令和4年度しらすぎの里拠点区分第2次補正予算(案)について
 - 第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - 第3号議案 令和5年度定期昇給(案)について
 - 第4号議案 定款変更について
 - 第5号議案 経理規程の改正(案)について
 - 第6号議案 役員賠償責任保険の契約更新について
 - 第7号議案 令和4年度第3回評議員会への上程議案の確認について
 - 報告事項① 各事業所の現況報告について
 - 報告事項② 職員の入退職について
 - 報告事項③ 理事長の職務執行状況について
 - 報告事項④ その他

2) 評議員会の開催

- ・定時評議員会 令和4年6月21日(火)
 - 第1号議案 令和3年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について
(監事監査報告)
 - 報告事項① 令和3年度事業報告について
 - 報告事項② 職員の入退職について
 - 報告事項③ その他
- ・第2回 令和4年12月20日(火)
 - 第1号議案 令和4年度しらすぎの里拠点区分第1次補正予算(案)について
 - 第2号議案 理事の補充選任(案)について
 - 第3号議案 副施設長の設置(案)について
 - 報告事項① 令和4年度上半期決算報告について
 - 報告事項② 令和4年度上半期監事監査報告について
 - 報告事項③ 令和5年度地域包括支援センター運営受託に係る方針について
 - 報告事項④ 各事業所の現況報告について
 - 報告事項⑤ 職員の入退職について
 - 報告事項⑥ その他
- ・第3回 令和5年3月27日(月)
 - 第1号議案 令和4年度しらすぎの里拠点区分第2次補正予算(案)について
 - 第2号議案 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - 第3号議案 令和5年度定期昇給(案)について
 - 第4号議案 定款変更について
 - 第5号議案 経理規程の改正(案)について
 - 報告事項① 各事業所の現況報告について
 - 報告事項② 職員の入退職について
 - 報告事項③ その他

3) 監事会の開催

- ・令和4年5月10日・5月18日(世良監事・石飛監事)
 - 令和4年度第1回理事会及び定時評議員会にて令和3年度下半期監事監査結果として報告

- ・令和4年11月10日・11月22日（世良監事・石飛監事）

令和4年度第3回理事会及び第2回評議員会にて令和4年度上半期監事監査結果として報告

4) 評議員選任・解任委員会の開催

- ・令和4年度の開催はありませんでした

3 事業運営

- ① 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営
- ② 第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営
老人デイサービス事業の経営
- ③ 公益事業 居宅介護支援事業
地域包括支援センターの経営（令和4年度末まで）

4 本年度の重点施策

1) サービス品質

- ① 基本理念と方針を全事業、全職員の取り組みの基本的な考えとして常に実践と振り返りを促し、職員教育とサービスの質向上につなげました。その成果として、地域関係者やご利用者のご家族から「温かい雰囲気が良い」「良くして頂いてありがとうございます」との評価をいただいています。
- ② 外部評価は感染拡大期が続いたため実現できていませんでしたが、令和4年度は計画通りに準備が進み、ご利用者及び職員を対象とした調査を経て、9月14日に実地調査を経て、令和5年1月13日にインターネット上で公開、周知されました。けて相談と打合せが進み、具体的なスケジュールが確定、計画性を高めることができました。
- ③ 規程の見直しを進め、令和4年度は定款の変更、経理規程 規程、運営規程について改正を行い、現時点での実態に即して見直しを行いました。
- ④ 会議や研修を通じてリスクマネジメントの考えと法令遵守の重要性を説き、周知徹底を図りました。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大と変異ウイルスによる長期化の中で、予防策を講じながらの事業運営を行い、施設行事や地域活動を再開するなど、実現可能な手段を検討し実行しました。また、マニュアルの見直しにも着手しました。

2) 人材確保と人事管理の適正化への対応

- ① 新しい繋がりを築き、地域と一体的に地域福祉の向上に向けた対話機会を持ち、協力体制を築きました。
- ② 高年齢者や新卒の若年者、そして障害のある職員が役割を担い生き生きと活躍できる体制が定着し、多様な人材が職場を支える風土を確立することができました。
また、令和4年度は従来からの「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」認定、「シニア活躍事業所」認定、「ユースエール認定企業」認定に加え、高年齢者雇用開発コンテストで平成29年に続き2度目の特別賞を受賞、更に「ひょうご仕事と生活調和」企業表彰を受け、多様な人材が働きやすく、活躍することができる職場としての証を得ました。
- ③ 令和3年4月に介護支援専門員資格を取得し昇格を果たした特養係長が、1年間の現場経験を積み、令和5年度から特養介護支援専門員としての任務に就くための準備が整いました。デイサービスセンターでは管理者を中心に業務効率化と集客力向上に取り組み、令和5年度から管理者を部長級から副施設長に昇格し、在宅部門強

化を図るための体制へ転換する準備が整いました。

- ④ 先輩職員の昇格や役割を担い法人に貢献する姿を若手職員の将来の希望につなげ、人生設計を描ける職場づくりに取り組みました。1名が育児休業から復帰し、2名が産前を安心して迎えることのできる環境下で業務を継続しています。
- ⑤ 兵庫県の労働環境改善支援補助金を活用し、通信環境を整備したうえでインカムと介護ロボット（見守りセンサー 眠り SCAN）の導入後、業務効率化と省力化を図る取組を続け、現在は職員に浸透し、効率的な業務上の連携が図れるようになりました。令和4年度には取り組みが「ひょうご仕事と生活センター」が発行する『WLBな会社ガイド』に掲載され、市内施設からの見学や導入相談にも応じました。
- ⑥ ホームページをリニューアルし、それに伴い広く情報発信を行うことに留まらず、職員やご利用者とそのご家族の利便性向上を検討しました。令和5年度には広報担当職員を配置し、広報を顧客と人材の確保に活用できるように準備を進めました。

3) 財務基盤の強化

- ① 介護保険事業収入は、ほぼ昨年度並みとなり、予定していた5億には達しませんでした。新型コロナウイルスによるクラスター発生を受けて大幅な減収となり、そのため下半期はダメージの弾力化に注力することを強いられました。経験を踏まえて感染症対策の強化を図り対応力向上を果たすことで、万一同様の事態が起こっても被害を最小限にとどめることのできる体制を築くなどし、令和5年度での実現を目指します。
- ② 早い段階で給湯設備の不具合を解消することができ、上半期においては予算通りの資金運用ができました。しかし、10月に発生したクラスターの収束とその後の事業の立て直しに時間を要したため、財政的には補助金の支援が得られたものの、案内看板の更新やフロアゲートの追加整備、新館下駐車場の補修工事など、大掛かりな工事が次年度以降に持ち越しとなりました。
- ③ 介護報酬請求では、新たな加算要件の整備に取り組み、特養で科学的介護推進体制に係る加算とデイサービスでADL維持等加算の算定を令和5年4月以降算定可能としました。
- ④ 特養ではショートステイを含め事業所による積極的な早期受診対応で重篤化を防ぐ対策を継続。しかし、新型コロナウイルスのクラスターが発生して以降、利用控えと利用離れが相次ぎ、その回復に労力と時間を要しました。地道に顧客の獲得、拡大に取り組んだ結果、年度末までに平常化を取り戻し、その成果は令和5年度に持ち越しとなりました。
- ⑤ サービスの充実を第一としながらも、食材や電気、水などを無駄に浪費しないように、電気についてはデマンド監視装置を利用した徹底管理に努めました。電気使用量は年末年始の急激な冷え込みによりやや増加。水道料金については、ユニット屋上塔屋の消火補助水槽からの漏水が発生し、については漏水への早期対応により損失を抑止しました。21万円ほどの減免が認められたものの、平常よりも30万円の損失を生みました。原因となった老朽化したボールタップは交換を完了し、現在も異常は見られません。クラスター発生による想定外の出費にも見舞われ、1千万円の積立を実現するも、後の補填に充てることを強いられました。

4) 地域との連携強化

- ① コロナ禍において、地域交流と情報交換の場がない状況が続きましたが、感染対策を講じたうえで、可能な手段でアットホーム林田を利用した集合形式でのイベントを継続し、情報発信と地域ニーズの把握につなげました。地域サポート施設として行う見守りサービスは、クラスター発生を受けて活動自粛を強いられ、その間に利用者

の入院などが重なり、結果として活動はその規模を縮小する形となりました。

- ② 地域における公益的活動としてのミニデイサービスやふれあいサロン、料理教室などは、令和4年度も安全確保が確実視できない中で実施を見合わせる事となり、地域への情報発信や相談会、介護技術講習会など、実現可能な規模で地域への貢献活動を継続し、経過動向を見ることになりました。
- ③ トライやるウィークの前段階で行う林田中学校1年生の福祉学習出前授業は、接触を避け講義形式のみで実施し施設と介護職の魅力を紹介しました。また、林田小学校4年生が行う職業調べのための施設見学が感染予防のため出張形式で実施となり、同じく施設と介護職の魅力を発信しました。
そして、トライやるウィークでは、林田中学校2年生2名を受け入れ、利用者とのソーシャルディスタンスを図りながら、5日間実施。職場の魅力を若者に伝えることの成果を得ることができました。
- ④ ①から③のとおり、感染対策を講じつつ「新しい生活様式」の中での活動スタイルを探り、施設の存在意義と職場、そして介護職の魅力を地域住民にアピールしました。

5) 設備備品管理

- ① 感染症対策のため、兵庫県や姫路市からの支援を得ながら衛生用品や防護用具を備蓄し、わずかな不安要素にも早めの抗原検査と対策を講じました。そのような中でクラスターが発生し、多くの物資を姫路市から借り受けて対応。後に補助金にて精算し、更に備蓄と職場の環境整備のために活用させていただきました。
また、既存のフロアゲートは感染拡大期にその機能を発揮し効果を生みました。そのため、フロアゲートの追加設置を予算化し令和5年度以降に着手するための準備を整えました。
- ② 新館下駐車場の天板破損部分については、クラスターの発生により優先的に着手すべき取り組みを進めるため、次年度以降に見送ることとしました。
- ③ 給湯設備は、早期解決のため上半期に実施し、配管の組み換えやポンプ、バルブ、ボール弁などの交換を行い、調査の上で可能な限りの更新工事を実施。以降はトラブルも見られず、改善に至ったと思われまます。

6) 災害時に備えた体制の整備

- ① 例年どおりの火災避難訓練は、感染拡大状況を踏まえて地域住民の当日参加を得ることができず、後日合同の検討会を開いて合同訓練としました。また、国内各地で感染拡大と地震等災害が度々発生する中、感染症の蔓延防止と防災への意識、対応力を高めるための訓練・勉強会を計画に従い実施しました。自然災害の訓練については感染対策に追われる中、年度内実施には至りませんでした。
- ② 避難確保計画と事業継続計画（BCP）に従い、シミュレーションを手段とした訓練を導入し、対応手順や役割明確化など、マニュアルの具体化につなげることができました。次年度では分かりやすくまとめ直す作業を行います。
- ③ 防災センター等を利用した個別の体験教育については、感染拡大が続く中で実現せず。まずは、感染対策の強化と映像駆使したシミュレーションを通じて引き続き危機管理意識を高めることに注力しました。
- ④ 災害に備えた外部機関や地元企業との連携については、行政や地元住民、近隣施設との連携体制を模索することにし、意見交換の場や合同の学習機会をつくり、次のステップにつなげました。
- ⑤ 福祉避難所としての役割を果たすことができる体制を築くため、マニュアルを周知し、訓練実施を検討しましたが、機会が得られず、次年度以降に実施を目指します。
- ⑥ 緊急時の連絡体制を確立するため、ホームページのリニューアルに合わせて職員

専用ページを設け、職員との緊急時連絡や安否確認、連携などを実現するためのツールを築きました。令和5年度は広報担当者を配置、効果的活用法を確立させます。

7) その他

① 実地指導監査

令和4年11月16日に実施。令和5年1月17日指摘事項に対する改善報告完了。

② 第三者評価

対象：介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護事業所

令和4年8月10日 利用者調査の実施

令和4年9月14日 実地調査の実施

令和4年12月7日 講評の実施

令和5年1月13日 機関ホームページ等にて評価結果の公開、公表

③ 情報の公表

令和4年12月3日付で公表

(特養、地域密着型特養、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援)

④ 財務諸表等情報開示システムによる公表

令和4年6月アップロードを終え、姫路市にも報告済み。

⑤ 特定建築物等防火設備定期点検実施(3年1回)

令和4年度は対象外

【令和2年度不具合指摘箇所改善状況】

・新館軒天ボード2か所破損・・・調査及び修理を見込み、見積依頼済。

令和4年度は実施見送り。

・西トイレ外装塗装の劣化・・・室外機の位置変更又は外装への直撃風回避を検討。

・新館屋外階段の塗膜劣化・・・新館屋根塗装と合わせて計画中。

・ユニット屋上階塔屋防水・・・給水塔の配管・バルブ交換、ボールタップ交換済。

防水シート張替要否検討は課題として残る。

⑥ 防火設備定期検査(令和4年10月19日)三和シャッター工業

防火シャッター及び防火扉について異常及び指摘なし。

⑦ 消防用設備等保守点検実施(令和4年4月22日、同年9月16日)安立防災

・4/22 自動火災報知設備・ベル不良1個あり(2階中央階段前)

➡ 取替済(令和4年4月28日)安立防災

・4/22 自家発電設備・燃料(軽油)150補給必要。

➡ 補給済(令和4年5月9日)二木商店

・9/16 誘導等・蛍光管切れ(グロー共)1本

➡ 取替済(令和4年9月16日)安立防災

⑧ エレベーター定期点検(本館・新館 2か所)フジテック

(令和4年5/17、6/21、8/16、9/20、12/20 令和5年2/21)

5/17 各扉周り確認、手入実施。運転状況良好。

6/21 昇降路レール給油済、かご内ファンイオン発生装置清掃済。運転状況良好。

8/16 各安全装置動作確認、かご周り乗場周り確認、手入実施。運転状況良好。

9/20 かごドアレール、各階ドアレール清掃実施、注油実施。

停電時自動着床装置バッテリー取替、ピット内機器確認。運転状況良好。

11/15 かご周り及び各扉周り確認手入実施、注油実施。運転状況良好。

12/20 ドア周り手入、ガイドレール注油、ピット内オイルパン廃油。運転状況良好。

R5年2/21 停電時自動着床装置用バッテリー取替、各扉周り確認、手入実施。

運転状況良好。

- ⑨ 自家用電気工作物点検（自家発電設備）日本テクノ
 年次：令和4年11月27日 ※特段の異常は見受けられず。
 月次：令和4年5/14、7/7、9/2、11/10、令和5年1/12、3/6
 【特記事項】
 ・令和4年6月19日6時53分停電あり（遠隔管理システムにて）異常なし
 ・令和4年11月10日 非常用発電機のファンベルトが緩いため調整。
- ⑩ 産業廃棄物立ち入り検査（5年1回）姫路市 令和4年度は対象外
- ⑪ 簡易専用水道定期検査（令和5年2月9日）姫路市医師会
 指摘事項特に無し。助言事項特に無し。総合判定「良好」。
- ⑫ 水質検査（令和4年2月9日）姫路市医師会
 採取場所・・・特養一般浴槽（本館・新館・ユニット）、デイサービス一般浴槽
 検査結果・・・公衆浴場（浴槽水）における水質基準に適合。
- ⑬ 飲料水検査（令和4年4月19日）アクアプラス
 受水槽清掃及び点検済・・・受水槽内に錆・異物・沈殿物なし。亀裂・破損なし。
 採取場所・・・1階男子トイレSK
 検査結果・・・水質は（良）残留塩素含有量・色・濁度・臭気・味に異常なし。
- ⑭ 漏水調査
 ユニット棟屋上塔屋の消火補助水槽にて漏水あり。
 ➡ ボールタップの腐食による水漏れが原因と特定。ボールタップを交換し改善。
 （ムツミ商事）
- ⑮ 利用者・職員健康診断
 令和4年7月22日（利用者健康診断）
 令和4年7月4日（健康診断及び腰痛検査・ストレスチェック）
 令和4年2月28日（夜勤者・宿直者の健康診断及び腰痛検査）
- ⑯ 新型コロナウイルス感染症対策における経過及び対策について
 i 令和4年度における新型コロナウイルス感染症の発症者（職員15名・入居者41）
 ii 令和4年度における新型コロナウイルス感染症の疑い自宅待機者（延べ）81名

令和4年度

事業報告書

特別養護老人ホームしらさぎの里

年間稼働率は、94.9%で前年度と比較し-1.6%の減少となりました。令和4年度は平均年齢が約90歳と高齢で約3割が95歳以上であり、看取りケアが23名、医療機関入院中に14名が亡くなられ計37名の退所がありました。入所に関しては10月2日新型コロナウイルスによるクラスターで感染対策に要したため、スムーズな入所が実現できず稼働率の低下を招いたと考えます。

1 根拠に基づいた介護の実践

1) 根拠に基づいた介護の実践について

主任会議やフロー一会議、施設内研修会において、適正な水分摂取・歩行に対するケア・普通の食事を摂取できた場合に、身体にどのような影響を及ぼすのかを学び、部門間で連携を図りながら理論に基づいたケア・尊厳を守るケアの提供に努めました。また、適正な水分ケアを勧め、可能な限り自然な排便に繋がる様に医師との連携にも努めました。

特養・地域密着型特養共同の施設内研修

月	研修内容	担当職員
4月 27.28日	食事介助・服薬（実践）	介護職員
5月 14.18日	チームケアの重要性（他職種連携）	介護職員
5月 27.30日	食中毒の基礎知識と予防（感染症）	厨房職員
6月 16.17日	ターミナルケア	介護職員
6月 23.29日	高齢者虐待	介護職員
7月 18.25日	高齢者施設における事故発生の原因と予防	介護職員
7月 27.29日	排泄介助（トイレ誘導・パッド交換）（実践）	介護職員
8月 4.23日	吸引・胃瘦介助（介護・看護・医師の連携、実技）	看護職員
9月 7.8日	高齢者に多い疾病（褥瘡も含む）	介護職員
9月 10.12日	口腔ケアの重要性	介護職員
9月 23.24日	プライバシー保護、個人情報保護	介護職員
11月 7.9日	緊急時の対応（骨折・止血）	介護職員
11月 26.27日	入浴介助（特浴・椅子浴・個浴）（実践）	介護職員
11月 11.21日	感染症予防・対策	介護職員
11月 28.30日	清拭介助（実践）	介護職員
12月 12.16日	褥瘡のメカニズム	看護職員
12月 20.30日	リハビリ（集団・個別でできる体操）	介護職員
1月 14.23日	介護事故の予防・緊急時対応	介護職員
3月 7.9日	認知症ケア	介護職員
2月 20.3月 10日	身体拘束適正化	介護職員
3月 25.29日	高齢者の尊厳を守るケア（身体拘束含む）	介護職員

実習受入について

令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、令和4年度は龍野北高校介護実習の受け入れを行い、トライやるウィークの受入は中止し学校に赴き生徒に対し特養の役割の講義を行いました。

2 入居者の尊厳を守る基本的介護の実施について

1) 高齢者虐待・身体拘束の防止に向けた取り組みの実施

入居者に安心して自分らしく生活を送って頂くために、主任会議をはじめ各フロア会議、施設内研修において、高齢者虐待と身体拘束に関する話し合いや事例検討会を行い、認知症や虐待の理解及び不適切なケアについても話し合い、職員への気づきを促し改善していけるように努めました。

3 サービスの質の向上について

1) 根拠に基づいた介護（水分摂取、歩行と排泄、常食化）を取り入れたアセスメントと見直しを継続して行い、一日に必要な水分摂取量を目標値に設定し対応しました。

嘱託医と連携をとり心身状況の把握に努め、変化があった事に対しご家族へお伝えし、ご家族の意向の確認とケア内容の提案を行い、ご家族とも一体となった施設サービス計画書の作成に努めました。ご家族へのサービス担当者会議出席について、令和4年度はすべてお断りさせていただきました。

サービス担当者会議開催件数（広域型）

項目 \ 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
サービス担当者会議の件数	132 件	133 件	156 件
ご家族参加の総件数	46 件	0 件	0 件

※新型コロナウイルス感染症予防のため、面会制限（指定した部屋でのオンラインのみ）とし、意向を伺い作成しています。

2) 担当介護職員より、毎月の近況報告（写真付き手紙）を ご家族宛に送付し状態の共有を図りました。また、状態変化時にはご家族へ電話連絡を随時行い、施設の体制を再度説明したうえで、対応・ケア方針の検討に努めました。（状態の変化の無い方は隔週でご家族へ電話にて近況を報告しています。）

①介護の取組み

i 食事：

椅子やテーブルの高さ、自助具を調整し、食事を摂るための座位や姿勢を確認し、入居者ご本人に食べて頂けるよう環境整備に努めました。また、水分の種類や摂取の方法を検討し、24時間摂取できる環境を作り脱水から起こる認知レベルの低下を予防し、改善に繋がる方もありました。

ii 排泄：

入居者一人ひとりに合わせた排泄方法を排泄委員会（尿測、排尿チャート）・フロアー会議で検討し、実施しました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者	自立
令和 4 年 4 月	12 名	20 名	8 名
令和 5 年 3 月	8 名	24 名	7 名

iii 入浴：

入居者の身体状況に応じた入浴方法を、入浴委員会・フロアー会議で検討し、各入居者に合った方法で入浴を実施しました。

月日\種別	臥床特殊浴	座位特殊浴	個浴
令和 4 年 4 月	10 名	42 名	8 名
令和 5 年 3 月	8 名	47 名	5 名

②看護室の取組み

i 入居者の日々の健康管理に努め、発熱時には温度板を活用し、その統計と初期の体調変化を見極め 嘱託医・協力医療機関と連携し、早期対応に努めました。医師の往診時には、入居者の状態を報告し 医師の診療補助に努めました。

嘱託医：毎週 20～30 名程度の診察

心療内科医師：対象者 22 名（前年度 22 名）

歯科往診：対象者 58 名（津田歯科：54 名、おかだ歯科：3 名）

嘱託医への受診件数：60 件（前年度 90 件）

嘱託医以外の協力医療機関等への受診状況		
令和 2 年度受診件数	令和 3 年度受診件数	令和 4 年度受診件数
102 件	128 件	83 件

協力医療機関等への入院状況		
令和2年度入院者数	令和3年度入院者数	令和4年度入院者数
11名	27名	28名

ii 入居者・職員ともに年1回（夜勤者は年2回）の健康診断を実施（介護職は腰痛検査も実施）し、嘱託医による健康相談を行いました。

iii ターミナルケアの実施：ターミナルケア開始決定については、ご家族に医師の説明・施設での看取り介護についての説明を聴いて頂き、細かく意向を確認し、その人らしく最期の時を迎えて頂けるような支援に努めました。また、その内容の記録を作成し、職員間での情報の共有を図りました。

ターミルケア実施者

項目 \ 年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ターミナルケア実施者数	15名	15名	23名
永眠者数	12名	8名	14名

入居者退所内訳

医療機関移行	医療機関死亡	看取りケア	施設で死亡	密着型移行
1名	13名	23名	1名	0名

③栄養室の取組み

i 給食実施状況

- ・食事形態について

令和2年度から令和4年度までの3年間の比較をグラフにしました。

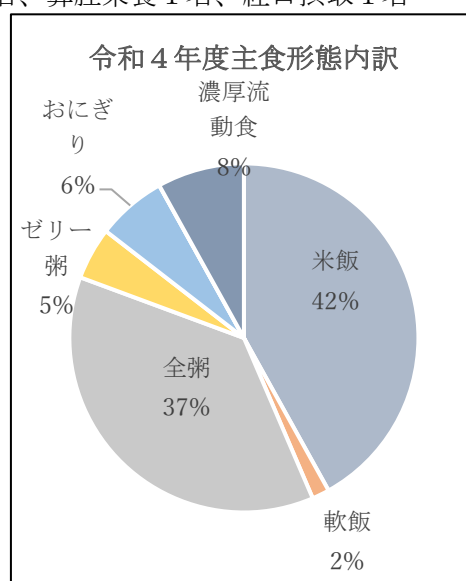
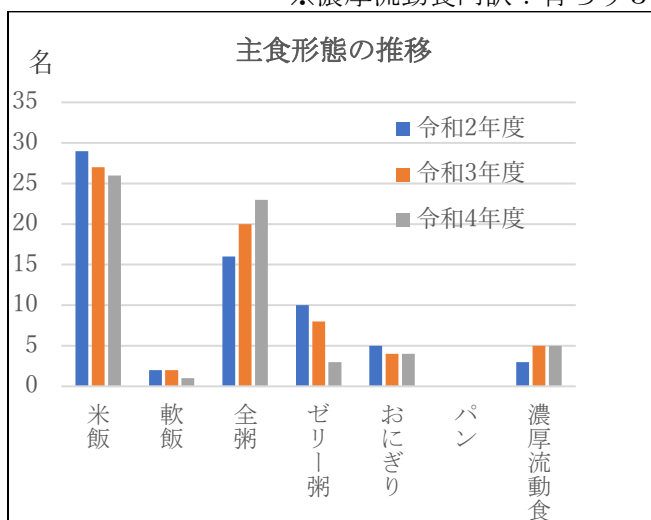
- ・食事形態3年間比較グラフ

<主食> 令和5年3月31日現在

	米飯	軟飯	全粥	ゼリー粥	おにぎり	パン	濃厚流動食
令和2年度	29	2	16	10	5	0	3
令和3年度	27	2	20	8	4	0	5
令和4年度	26	1	23	3	4	0	5

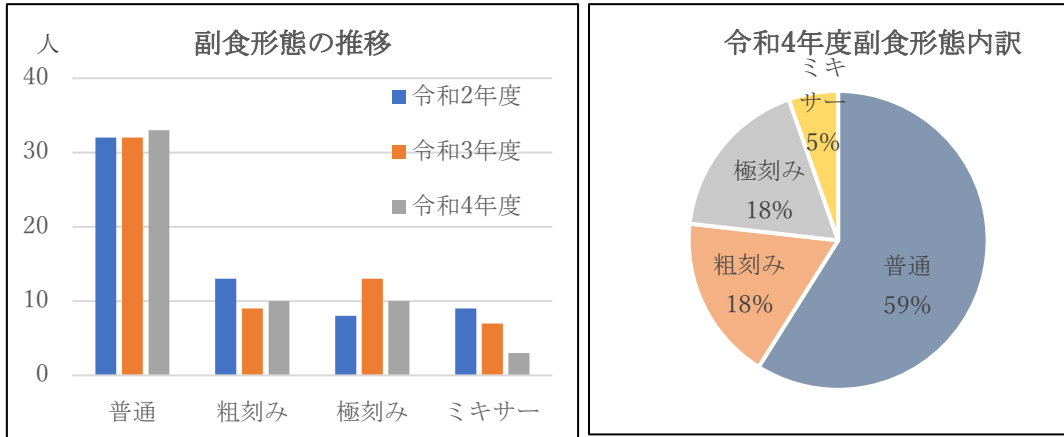
(名)

※濃厚流動食内訳：胃ろう3名、鼻腔栄養1名、経口摂取1名



<副食>令和5年3月31日現在

	普通	粗刻み	極刻み	ミキサー	(名)
令和元年度	32	13	8	9	
令和2年度	32	9	13	7	
令和3年度	33	10	10	3	



ii 特養の栄養摂取状況

	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩相当量
	kcal	g	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
施設基準量	1500	60.0	36.0	234.0	630	7.0	800	1.00	1.20	100	7.5
R4年度平均	1543	69.2	41.9	235.8	723	8.4	832	0.97	1.26	100	7.9
給与率	103%	115%	116%	101%	115%	120%	104%	97%	105%	100%	105%

iii 栄養ケア計画について

特別養護老人ホームしらさぎの里では栄養ケアマネジメント体制を整えています。特養の入所者一人ひとりの個性や食事に対する希望にできるだけ対応し、体重管理および疾病予防、食事療法そして生活の一部としての栄養に関するケア計画を、嘱託医を含め各部署と連携して実施しています。またサービス担当者会議に栄養士も参加し、栄養ケア計画を施設サービス計画書と連動させ、より細かなケアとサービスを提供できるよう多職種で検討しています。

iv 経管栄養について

経管栄養(胃ろう・鼻腔)にて毎日の栄養を摂取される入居者の割合は全体の約4%です。各個人の状態に応じた濃厚流動食の選択や適正カロリーの摂取、また逆流や嘔吐の予防などに努めています。嘱託医、看護師と密に連携を取り、濃厚流動食の種類を充実させ、個人個人に最も適した濃厚流動食で対応できるようにしています。これにより入居者の体調を良好に保ち栄養状態が改善され、また注入時の負担が軽減できるなど良好な結果を得てい

ます。

▽療養食について

特養入居者、ショートステイ利用者には様々な疾病を抱えておられる方も少なくありません。特に食事療法が重要となる病気をお持ちの方に対して嘱託医を始め看護師や介護職員と連携を取って疾病に対する療養食を提供しており、ショートステイ利用者に関しても療養食加算を算定できる体制を整えています。「生活の場であるしらすぎの里」であることから、ご本人の意思を尊重し満足度も考慮しつつ疾病に対応した療養食を提供できるよう努めています。

<令和5年3月31日現在の療養食の種類と提供人数>

	糖尿食	心臓病食	貧血食	
特養	10	5	0	(名)
ショートステイ	2	1	0	

特養施設行事・余暇活動実施状況

月	施設行事内容	フロア行事内容
4月	・花見	・お誕生会
5月	・スポーツ大会	・お誕生会・母の日お菓子作り
6月	・寿司パーティー	・お誕生会
7月	・七夕・献花式	・お誕生会
8月	・そうめん流し	・パフェ作り
9月	・敬老会・秋祭り	・お誕生会
10月	・中止	・中止
11月	・焼き芋パーティー	・お誕生会・おやつ作り
12月	・クリスマス会	・お誕生会・ケーキ作り
1月	・初詣・書初め	・絵馬書き・お誕生会
2月	・節分・恵方巻き	・お誕生会
3月	・ひな祭り	・ケーキバイキング・お誕生会

5 地域との連携の強化について

しらすぎふれあいサロン、介護技術講習会、施設見学については新型コロナウイルス感染症対策として中止させていただきました。

地域サポート施設として、令和4年度は8名の契約者の見守り事業を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として生活援助については中止させていただき、定期の安否確認及び緊急時の対応を行いました。

LSA 契約者状況

令和2年度	令和3年度	令和3年度
9名	8名	8名

6 施設運営の安定と経費の適切な管理

1) 健康サポート(状態把握・対応)について

入居者の僅かな表情や変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとり状況に応じた対応(受診・食事形態変更・観察)を行いました。入院されている方の把握を細か

く行い、入院期間を把握しましたが、新型コロナウイルス感染クラスターにより特養空床のスムーズな有効活用が行えませんでした。(空床率 5.1% : 82 床で計算)

入居者の状態変化に応じて、介護度区分の適正な見直しと申請を行いました。

2) 経費削減について

主任会議にて光熱水費の推移を共有し、常に改善点を抽出し経費削減に努めました。

7 危機管理について

1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

①主任会議において事故検討委員会を行い、各フロアー会議においては危険予測・ヒヤリハットを活用しご利用者一人一人に応じた介護ロボットの設置を行いました。小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施しましたが、軽微な傷や皮下出血の事故が多くなりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれることで傷や内出血に至る事や、家族による外出・外泊をされる前・後のボディーチェックを行い 身体状況を確認した結果、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

令和 2 年度	創傷	44 件	皮下出血	38 件	転倒転落	32 件	
令和 3 年度	転倒転落	39 件	創傷	36 件	皮下出血	26 件	
令和 4 年度	転倒転落	68 件	創傷	24 件	皮下出血	19 件	
令和 2 年度総件数		121 件	令和 3 年度総件数		112 件	令和 4 年度総件数	114 件

ヒヤリハット件数対比表

令和 2 年度	転倒転落	190 件	喉つめ	32 件	皮下出血	22 件	
令和 3 年度	転倒転落	294 件	喉つめ	50 件	感染	48 件	
令和 4 年度	転倒転落	165 件	喉つめ	35 件	トラブル	34 件	
令和 2 年度 総件数		354 件	令和 3 年度 総件数		614 件	令和 4 年度総件数	454 件

②新型コロナウイルス感染症及び季節性感染症について、毎月の感染症対策委員会にて感染症の動向を確認し、事前の予防・対策を図り、発症した方はおられませんでした。

年度 \ 診断名	新型コロナウイルス	インフルエンザ A 型	インフルエンザ B 型	疥癬
令和 2 年度	0 名	0 名	0 名	0 名
令和 3 年度	0 名	0 名	0 名	0 名
令和 4 年度	36 名	0 名	0 名	0 名

※職員の新型コロナウイルス感染 11 名でした。

※新型コロナウイルス感染症対応のため、直接面会・外出泊の中止、必要物品の適正な使用、不要不急の外出自粛を職員に徹底して行いました。

1) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告(写真付き手紙)を適切に行い施設での状況をお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋がりました。また、2ヶ月に1度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即対応しました。

苦情件数対比表

令和2年度	令和3年度	令和4年度
0件	0件	0件

2) 危機管理について

下記 日程において、消防避難訓練を実施し、非常食の食数の見直しも行い 5 日分を常備しています。

特養・地域密着型特養共同の防災避難訓練実施状況

実施日	訓練内容	対象者
令和4年5月23日	消火、通報および避難等を連帯して行う消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等（夜間想定）	特養職員、地域住民
令和4年11月18日	消火、通報および避難等を連帯して行う消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等（日中想定）	特養職員、地域住民
令和4年11月4日	感染対策シミュレーション、情報伝達訓練、実践で行う。	全職員

令和4年度

事業報告書

しらすぎの里ショートステイ事業所

令和4年度の年間稼働率は、100.4%で前年度に比べ4.6%となっています。1年を通して長期利用者の体調不良や入院が多く、新型コロナウイルスによりキャンセルされる方も多く見られました。また、10月に起こった新型コロナウイルスクラスターにより積極的な新規の受け入れを行えなかった事もあり空床利用が行えず稼働率の向上に繋がらなかったと考えます。

1 ケアプランに沿ったサービス提供について

新規利用時はもとより、退院時や状態変化時にもケアマネジャーからの情報提供を元に事前訪問を実施することにより、状況に応じたケアの提供とケアプランの作成に努め、利用時毎に自宅での様子を伺い、各引継ぎ時に状態変化を職員に伝達し状態の変化に即応できるように努めました。また、“すこやかメモ”に利用中の様子を記載し、退所時にご家族にお伝えし状態の共有に努めました。

2 在宅生活継続に向けてのケアの構築（新型コロナウイルス感染対策を行い実施）

在宅生活を念頭に、移動時など自宅での生活状況と同じ内容を想定し、状況に応じて車いすと歩行器の併用を行い自宅に帰られてからの状況も踏まえ自立支援に取り組みました。また、食器洗い・洗濯物たたみ・台拭き・掃き掃除など日常的な役割を持つことによる心身機能の維持・向上と介護負担の軽減・在宅生活の継続に繋がるように努めました。

3 利用者、家族との信頼関係の確立について

- 1) サービスの利用初めや契約から時間が経過している方に関しても、ご利用に関して必要な事項があれば、再度丁寧に説明したうえで納得してご利用頂けるよう努めました。
- 2) ショートステイの入所・退所時には物品チェックを行い忘れ物が無いように努めています。(令和4年度は2件)

苦情件数対比表

令和2年度	令和3年度	令和4年度
1件	0件	2件

- 3) 利用中の細かな状態の変化であってもご家族に連絡し意向を確認しながら対応を行いました。体調不良時には、ご家族に早目の連絡と状況の説明を行い受診を依頼しております。

介護事故件数表

令和4年度	創傷	35件	転倒転落	94件	皮下出血	36件
令和3年度総件数 131件						

ヒヤリハット件数表

令和4年度	転倒転落	364件	紛失	78件	喉詰り	63件
令和3年度総件数 756件						

- 4) 生きがいづくり、楽しみづくりについて(新型コロナウイルス感染対策を行い実施)
 - ① 個室を利用していただき、過ごしやすい環境を提供するとともに状況に応じて居室内で行って頂けるようにしております。
 - ② ショートステイの利用が多くなられている方や利用初めで少し不安感を持たれている方には、感染対策を行ったうえでデイサービスでの知り合いの方と面会やご家族からお手紙を書いていただき、不安感の軽減や関係性を保てるように支援を行いました。
 - ③ また、施設内での生活援助、レクリエーションだけでなく「ショートステイに行ったら楽しかった。」と思われる様に、利用者の趣味・特技を活かし、年間行事等にご利用時に合わせて希望を伺い実施に結びました。
- 5) 食事について
利用者個々の嗜好に基づき食事を提供し、食欲の減退に繋がらないように対応しました。また、療養食が必要な方に対し、サービス担当者会議により療養食の要否を検討し、嘱託医・各部門との連携に基づき提供を行いました。また、食事形態の変更が必要であれば利用者・ご家族の意向を確認のうえ、状態に応じた食事形態に変更を実施しました。

4 短期入所事業の安定と居宅介護支援事業所との連携強化

- 1) 新型コロナウイルスクラスターにより積極的な受け入れは実施できませんでした。その中でコロナ禍において体調が不安定な方や医療的ニーズが増加する中、安心・納得して頂く為に、居宅介護支援事業所との連携を密に行い、ご家族にも感染症対策の内容を説明し、自宅での生活状況や利用前の検温に協力いただき、納得して頂きご利用に結びました。また、ショートステイの空き状況を合わせてお知らせすることにより、ご利用に繋がっています。急なサービス利用にも対応できるように、特養入居者の入院時の空床を詳細に把握し、緊急なニーズにも可能な限り対応できるように努めました。
- 2) ご利用中の些細な変化であっても担当のケアマネジャーに電話にて連絡し、月に1

度ご利用時の情報提供を行い綿密な連携に努め、担当ケアマネジャーとの信頼関係の構築に努めました。

- 3) 感染症対策として利用前のご自宅での様子（体調及び検温）や入所時に玄関での検温、長期利用の方は姫路市が行う新規入居者PCR検査事業を活用し、施設内に持ち込まない対策を行いました。

令和4年度

事業報告書

地域密着型特別養護老人ホームしらさぎの里

令和4年度の年間稼働率は、93.5%と前年度に比べ0.7%の増加となりました。10月からの新型コロナウイルスのクラスターと年間通して複数名の体調不良による長期入院者がありました。その他は入居者個々に応じた水分ケアや健康管理を実施する事と、医療機関との連携を的確に行った事による体調の安定が図っております。

1 入居者の意思・人格の尊重とサービスの質の向上

地域密着型単体の委員会（食事・排泄・入浴）・フロアー会議・サービス担当者会議において、入居者の意思を尊重し、入居者の有する能力に応じたケアの検討と自立支援に努め、自宅で行ってきた生活の継続と役割を持った生活を送れるように努めました。

1) サービスの質の向上について

① 食事に関して

食事委員会において、入居者の時々の状態に応じた食事時の姿勢・食事形態を話し合い、咀嚼・嚥下状態及び介助を要する部分の検討を行い、普通の物を食べられる喜びを実感して頂くためにも常食化に努めました。手作りおやつをご利用者と作る事で食事を楽しみを感じていただき嚥下状態の維持にも繋げました。

② 排泄に関して

排泄委員会において入居者個々の身体状況・認知症の状況に応じた介助の方法を検討しケアの提供を行いました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
令和4年3月	3名	7名
令和5年3月	2名	8名

③ 入浴に関して

入居者個々の希望・身体状況に応じて、入浴委員会で話し合い、入居者に合った入浴方法を検討し、入浴して頂いております。

月日\種別	個浴	リフト浴	特殊浴
令和4年3月	0名	9名	1名
令和5年4月	0名	10名	0名

- ④ 特養（広域）と共同し利用者及び家族の思いに添った終末期の看取り介護の実施に努めました。 令和4年度ターミルケア実施者：4名（永眠：5名）

- ⑤ 施設行事・フロア行事に参加頂き、生きがい、目標作りに繋がるような支援に努めました。

フロア行事実施記録

日 程	行事内容	日 程	行事内容
4月2日	花見	12月8日	お誕生会
5月16日	スポーツ大会	12月22日	クリスマス会
5月24日	お誕生会	1月1日	初詣
6月14日	ホットケーキパーティー	1月26日	誕生日会
6月27日	お誕生会	2月21日	節分
7月9日	七夕	2月22日	お誕生会
9月23日	ビアガーデン	3月13日	お誕生会
9月27日	敬老会	3月19日	ひな祭り

- 2) 高齢者虐待の防止の観点からフロア会議において、高齢者虐待に関する事例検討・良い対応・不適切な対応・声掛けの方法と、入居者への日頃の認知症状への対応方法について話し合い、その中で最善のケア方法の統一を行うことにより、認知症ケアに対する理念の共有化と身体拘束・高齢者虐待に関する意識付けを行いました。

また、フロア会議において事故検討、認知症、高齢者虐待に関する研修会を実施しました。

- 3) 入居者個々に合った食事提供・栄養ケアの実施

入居者個々に美味しく適切な食事提供を行うため、部門間で連携を図り、身体状況や喫食状況などを常に把握し、低栄養状態の予防・改善、認知症進行の防止に努めました。

- ① 炊飯や食事の盛り付けはユニットで行いより家庭の雰囲気作りを中心に掛けました。

また、入居者の食事摂取状況を把握し 個別対応の食事提供に努め、その日の状況に応じて食事形態を微調整し、安全に食事を食べて頂けるように努めました。

- ② 低栄養や褥瘡リスクの高いまたは褥瘡が発生している入居者に対し、看護師・栄養士と連携し、速やかな栄養改善計画を立て適切な栄養管理を行いました。

- ③ 季節の食材を取り入れた月1回の昼食お楽しみバイキング（感染対策として厨房職員が小分けにして提供）、ユニット内での入居者との家庭的で楽しみのある食事作りやおやつ作りに努めました。

- 4) 運営推進会議を行い、地域の自治会、老人会、民生委員、地域包括支援センターに出席いただき、意見を伺いより良い施設の構築に努めました。

2 ユニット型の特性を活かしたケアの構築

- 1) 入居者の要望に耳を傾け 入居者が自分らしく生活を送れ、在宅生活時から現在の状況まで把握できるように、入居者の24時間シート（アセスメント）を活用し、月1回のフロア会議により内容の検証と共有を行いました。

また、日常的な他部門との連携をしっかりと図ることにより情報を共有し 他の専門職の意図を理解し共通理解のもと援助を行えるように努めました。

3 施設運営の安定と経費の適切な管理

- 1) 健康サポート（状態把握・対応）について

根拠に基づいた介護（水・歩行と排泄）を取り入れ入居者の小さな様子の変化を捉え、

嘱託医・各部署間での連携を密にとりました。(入院件数：3件)

医療機関と連携を図り、入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより空床の有効活用に努めました。(令和4年度 受診件数：28件 入院者：3名)

4 家族・地域との関係の強化について

- 1) 入居者・家族・職員が三位一体となった関係を構築し、明るく家庭的な環境をつくり、家庭との結び付きを重視した生活を提供するために、入居者の身体状況・体調変化時にはご家族への状況連絡を行い、月2回以上ご家族への近況報告を行いました。面会については制限がある中オンライン面会と窓越し面会、ターミナルケアの方は感染対策を行ったうえで直接面会を行いました。ご家族へのサービス担当者会議出席について、令和4年度はすべてお断りさせていただきました。

サービス担当者会議開催件数(ユニット型)

項目 \ 年度	令和3年度	令和4年度
サービス担当者会議の件数	21件	20件
ご家族参加の総件数	0件	0件

※新型コロナウイルス感染症予防のため、面会制限(指定した部屋でのオンラインのみ)とし、意向を伺い作成しています。

- 2) 四季や生きがいを感じて頂くために、特養・地域密着型特養の合同施設行事にも参加していただきました。

5 危機管理について

- 1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

①フロアー会議において、危険予測(ヒヤリハットの活用)と小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施した結果、介護事故の減少に繋がりました。また、入居者自身が、皮膚を搔かれて傷や内出血を確認し、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

令和2年度	皮下出血 17件	創傷 6件	転倒 5件
令和3年度	皮下出血 17件	創傷 6件	転倒 5件
令和4年度	皮下出血 4件	創傷 6件	転倒 3件
令和2年度総件数 25件	令和3年度総件数 25件	令和4年度総件数 15件	

ヒヤリハット件数対比表

令和2年度	転落 92件	転倒 50件	皮下出血 30件
令和3年度	転落 53件	喉詰り 21件	創傷 13件
令和4年度	転落 50件	喉詰り 26件	転倒 25件
令和2年度総件数 312件	令和3年度総件数 187件	令和4年度総件数 242件	

②新型コロナウイルス感染症及び季節性感染症について、毎月感染症対策委員会を開き時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防・対策を図った結果、感染者はおられませんでした。

※令和4年10月2日に新型コロナウイルス感染者3名でした。

2) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をタイムリーにお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋げることにより、令和4年度の苦情は0件でした。

また、2ヶ月に1度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即対応しました。

苦情件数対比表

平成2年度	令和3年度	令和4年度
0件	0件	0件

3) 防災対策について

非常食の食数の見直しも行き5日分を常備しています。また、特養共同の防災計画に基づき、消防訓練・救急法実践訓練を実施しております。

給食部門

1) お楽しみメニュー・行事食について

コロナウイルス感染症予防対策のため、バイキングの実施を見送っている中、お楽しみメニューが定着しつつあります。季節の食材をたくさん使用した料理や盛り付け、普段とは違った特別感のある食事提供に心掛けました。それらに加えて少人数グループで入居者参加型の行事食を企画・実施し、できたての料理を五感で楽しんで頂けました。

<お楽しみメニュー・行事食の一例>



父の日 お祝いにぎり寿司



8月 フルーツ
カッティング



3月 スイーツバイキング

～お楽しみメニュー～

実施日	献立内容
4月22日（金）	海鮮丼 焼き鳥2種 春野菜ミモザサラダ 高菜明太焼きビーフン 茶碗蒸し あさり赤だし 苺ムース
5月18日（水）	パエリア ブルスケットタ 炙りサワラの刺身～春菊ソース～ 鶏もも肉塩麹漬け焼き 里芋フライ～トリュフ塩～ 茶碗蒸し オニオンスープ 抹茶のブリュレ
6月20日（金）	サラダ散らし寿司 お好み焼き 季節のお造り 卵豆腐 チキンソテートマトガーリックソース 鱧にゅうめん 季節のフルーツ

7月14日(木)	エビフライ巻き／鰻巻き 半熟玉子のマスタードソース 旬魚のカルパッチョ ジャがいもと牛肉コロコロステーキ チョレギサラダ 夏野菜ラタトゥイユ フォー風そうめん 茶碗蒸し～あおさソース～ 桃のムース
8月9日(火)	鮎めし サラダうどん 季節のお造り パプリカの肉詰め 夏野菜の焼き浸し 枝豆腐 チョコアイス
9月12日(月)	松茸ごはん 明石焼き 季節のお造り さんまの梅しそ天ぷら 秋茄子ポトグラタン 手作り豆腐 秋野菜と鮭のみそ汁 抹茶のジェラート
11月18日(金)	じゃこ山椒ごはん 桜えびと春菊のペペロンチーノ 季節のお造り 薄揚げコロケ 豆腐一丁ベーコンキムチ焼き 茶碗蒸し 旬魚のあら汁 マロンパンナコッタ
12月14日(水)	牡蠣ご飯 季節のお造り 豚しゃぶあごだし鍋 山芋のふわふわ焼き 鶏肉塩麴炙りマヨネーズ 茶碗蒸し かす汁 グラサージュ
1月17日(火)	にぎり寿司5種 きのご南蛮そば 冬野菜の天ぷら盛り合わせ 菜の花とパプリカの肉巻き 豆腐のかにたまあんかけ 抹茶ムース
2月16日(木)	海老天むすび 水餃子 季節のお造り 鶏肉の磯辺揚げ 揚げそばサラダ 厚揚げみそマヨチーズ焼き 蛤の吸物 レアチーズケーキ
3月13日(月)	鯛めし 和風きのご明太パスタ 季節のお造り 牡蠣の土手鍋 春キャベツのロールキャベツ 春野菜の豆乳カレースープ 旬魚の揚げ物～春野菜のあんかけ～ 苺のムース

～参加型行事食(栄養室企画・実施)～

実施日	内容
4月25日(月)	こどもの日 かしわ餅作り(新館)
5月30日(月)	母の日 スペシャルスイーツ(ユニット)
6月17日(金)	父の日 お祝いにぎり寿司(本館)
8月29日(月)	カッティングフルーツ(新館)
8月31日(水)	カッティングフルーツ(本館)
9月26日(月)	敬老の日 お祝いにぎり寿司(新館)
11月21日(月)	鍋パーティー(本館)
11月22日(火)	鍋パーティー(本館)
11月28日(月)	鍋パーティー(新館)
12月8日(木)	鍋パーティー(ユニット)
12月22日(木)	クリスマススペシャルケーキ(本館)
1月31日(火)	節分 恵方巻きクレープケーキ
3月7日(火)	スイーツバイキング

2) 行事報告(その他行事食及び給食関係)

<特養>

日程	行事内容
5月10日(火)	本館 子供の日 たい焼き作り(食材準備・調理指導)

5月31日(金)	新館 誕生日会(手作りケーキ作製)
6月26日(火)	本館 はし巻き作り(食材準備・調理指導)
6月27日(月)	ユニット ホットケーキパーティー(食材準備・調理指導)
7月28日(木)	新館 誕生日会(手作りケーキ作製)
8月20日(土)	本館 パフェ作り(食材準備・調理指導) 新館 アイスクリーム試食(食材準備・調理指導)
8月24日(水)	ユニット ビアガーデン
9月6日(火)	新館 ホットケーキ作り(食材準備・調理指導)
9月22日(木)	新館 誕生日会(手作りケーキ作製)
9月23日(金)	ユニット 敬老のお祝いビアガーデン
9月27日(火)	本館 敬老会おやつ作り(食材準備・調理指導)
11月17日(木)	新館 誕生日会(手作りケーキ作製)
1月24日(火)	新館 誕生日会(手作りケーキ作製)
1月13日(金)	ユニット ぜんざい(食材準備)
2月22日(水)	ユニット・誕生日お祝いおやつ(食材準備)

<デイサービス>



誕生日会手作りケーキ



母の日スペシャルスイーツ



クリスマス
スペシャルスイーツ

実施日	内容
5月11日(水)	母の日スペシャルスイーツ
5月25日(水)	誕生日会 ケーキ作製
6月7日(火)	誕生日会 ケーキ作製
6月8日(水)	そうめん流し
6月9日(木)	(食材準備・衛生指導)
6月13日(月)	父の日 スペシャルスイーツ(食材準備・盛り付け指導)
7月7日(木)	七夕 スペシャルスイーツ
7月5日(火)	
7月7日(木)	誕生日会 ケーキ作製
7月29日(金)	
8月20日(土)	誕生日会 ケーキ作製
8月30日(火)	
9月5日(月)	誕生日会 ケーキ作製
9月27日(火)	
9月15日(木)	敬老のお祝い スペシャルスイーツ
10月4日(火)	
10月10日(月)	誕生日会 ケーキ作製

10月26日(水)	
11月4日(金)	誕生会 ケーキ作製
11月21日(月)	
12月5日(月)	誕生会 ケーキ作製
12月21日(水)	
12月24日(土)	
12月23日(金)	クリスマス スペシャルスイーツ
1月9日(月)	誕生会 ケーキ作製
1月19日(木)	
1月25日(水)	
2月6日(月)	誕生会 ケーキ作製
2月14日(火)	
2月22日(水)	
2月8日(水)	バレンタイン スペシャルスイーツ
3月1日(水)	誕生会 ケーキ作製
3月11日(土)	
3月21日(月)	
3月30日(木)	

3) 栄養室職員による嗜好調査について

特養入居者・ショート利用を対象とした個別嗜好調査を、月1回の頻度で実施しています。調査は主に聞き取りで、ご本人やご家族から得られた情報や結果は、食事サービスや栄養ケア等に役立てています。入居者・利用者の生活歴や意見に触れることができ、職員意識の向上に反映させることができました。

またデイサービス利用者には一斉嗜好調査を実施しています(年一回)。一斉に実施することで喫食者の意見の数値化が可能になり、より良い給食運営につなげることができました。

4) ソフト食の定着化

咀嚼・嚥下困難の入居者が安心・安全に食事をして頂くため、主菜の一部にソフト食を導入しています。少しずつソフト食に調理する食材の種類が増え、同時に栄養室職員の食事におけるリスクマネジメント意識を高めることにもつながりました。今後もソフト食の完成度と定着化を目指し、よりいっそう入居者の食の安全とおいしさを追求していきたいと思っています。

5) 地域貢献事業について

今年度もコロナウイルス感染症予防対策の観点から、各料理教室の開催は見送りました。

今後、少子高齢化社会が進むにつれて独居になる、あるいは介護する立場になる可能性のある方が増え、介護食や栄養情報、公的サービスに関するニーズは増加すると考えられています。こういった状況に対応できるよう料理教室を含めた新たな地域貢献事業も検討していく必要があると考えています。

令和4年度

事業報告書

デイサービスセンターしらさぎ

年間稼働率は、66.4%となり、前年度と比較し+7.2%の増加となりました。令和4年度は4月から9月にかけて順調に利用者が増え、稼働率も70%台が期待できていましたが、10月に併設特養においてクラスターが発生し休業となりました。10月末に事業再開しましたが、11月にはデイサービス利用者数名と職員にもコロナ陽性者が発生し、利用控えの増加や休業中に他事業所を利用された方が戻らず、入院者の利用終了など続き稼働の低迷につながりました。(令和4年度目標稼働率70%)

1. デイサービス利用状況

月別平均利用者数(※) 令和3年度

	月別平均利用者数		月別平均利用者数
4月	23.4名(22.4)	10月	25.3名(20.5)
5月	23.8名(19.8)	11月	21.2名(21.8)
6月	25.2名(19.8)	12月	19.7名(22.0)
7月	24.6名(19.4)	R5.1月	20.6名(22.8)
8月	24.3名(19.3)	2月	22.8名(19.9)
9月	24.2名(19.6)	3月	23.8名(21.5)

年平均 23.2名(20.7)

曜日別平均利用者数(※) 令和3年度

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
24.3名 (24.4)	23.6名 (19.6)	24.2名 (20.2)	21.5名 (17.0)	23.2名 (22.2)	21.9名 (21.7)

介護度別平均利用者数(※) 令和3年度

(総合事業) (通所介護)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
14.8 (5)	13.3 (14)	20.5 (21)	12.5 (12)	10.1 (7)	3.1名 (2)	0名 (0名)

平均介護度 1.39(1.30)

利用者年齢構成(※) 令和3年度

	男性	女性	合計
～69歳	2(2)	0(0)	2(2)
70～74歳	1(0)	0(1)	1(1)
75～79歳	5(3)	3(3)	8(6)
80～84歳	6(6)	15(16)	21(22)
85～89歳	5(3)	18(14)	23(17)
90～94歳	3(3)	17(21)	20(24)

95～99歳	1 (3)	6 (4)	7 (7)
100歳～	0 (0)	1 (1)	1 (1)
合計	23 (20)	60 (60)	83 (80)
平均年齢	82.4歳 (79.7)	88.7歳 (88.3)	86.5歳 (86.7)
最低年齢	58歳	75歳	
最高年齢	98歳	101歳	

I.在宅生活の継続について

- ・ご利用者の状態に留意しながら情報を共有化し、家事や趣味活動など出来ることを継続できる環境を整えました。
- ・送迎時に直接ご家族へ重要事項をつたえ、不在の場合は連絡帳の活用や電話連絡するなど、話す機会を多く持ち相談しやすい環境づくりに努めました。
- ・ヒヤリハットの重要性を職員で共有し、活用することで未然に事故を防ぐ体制づくりに努めました。事故が起これば事故対策会議を都度行い、対策の徹底を図り再発防止を行いました。
- ・機能訓練や体操、脳トレなどを取り入れ、ご利用者の身体機能、認知機能を数値化することでご利用者の励みとなるよう働きかけました。
- ・機能訓練指導員によるリハビリを定期的に行い、身体機能の維持向上により転倒防止や行動範囲が広がり、QOL（生活の質）の向上に影響を与えることができました。

II.利用者の確保について

- ・重度者や認知症の方が安心してご利用いただくために、ご家族やケアマネジャー（必要に応じて医療機関）と処置や対応について情報共有を行いました。また、ご利用者・ご家族の希望を随時確認しながら、きめ細やかなサービス提供に取り組みました。
- ・ご利用者、ご家族の希望（利用時間、サービス内容等）にできる限り対応し、幅広いニーズにお応えできるように取り組みました。
- ・ご家族の精神的・身体的負担の軽減を図る為、送迎時や電話連絡の機会にコミュニケーションをとり、自宅での困りごと等を相談していただきやすい関係性を作るように取り組みました。また、ご家族の負担になっていることをケアマネジャーと確認し、利用の追加・変更、時間延長・短縮などできる限り対応を行いました。
- ・利用休止が続いている方、長期入院の方などの様子を定期的にケアマネジャーに確認し、現状把握を行いました。必要に応じて退院前カンファレンスに参加し、継続してご利用していただけるように取り組みました。
- ・デイサービスの取り組みや様子、雰囲気などをご家族に向けた新聞でお伝えしていません。居宅支援事業所や地域に向けたチラシなどで、PRを行い新規利用者の獲得に努めています。併せて施設見学も実施しました。

III.サービスの質の向上

- ・新型コロナウイルスの感染予防を重視したレクリエーションやゲームなど新たに考案し、日常に変化が持てるように取り組みました。（新規プログラム及び既存プログラムの改良）
- ・定期的に体を動かす機会をもち、気分転換や下肢の浮腫み予防に取り組みました。（足浴、マッサージ、体操）
- ・事故報告書やヒヤリハットを活用することで危険予知や安全意識を高め、安心してご利用していただける環境づくりに取り組みました。

- 事故 : 5件 (転落 3件、転倒 1件、爪切り 1件)
 ヒヤリハット: 29件 (転倒 19件、転落 5件、喉つめ 3件、異食 2件)
- ・自宅での様子、ご利用中の様子などをご家族と共有するため、連絡帳を活用し情報交換を行いました。(介護ソフトと連動し、連絡事項・記入のミスをなくす対応を行いました。)
 - ・苦情: 1件 (情報の共有方法について)
 - ・嗜好調査やご利用者・ご家族から情報を聞き取り、自宅で同様の食事形態または常食に近づけ、安全で楽しく食事をするように取り組みました。
 - ・利用毎に健康について考えていただく機会を設け、季節に応じて注意が必要なことを伝え、日常生活に取り入れていただけるように取り組みました。

(年間行事)

4月	誕生会、花見、案山子ドライブ、チューリップドライブ
5月	誕生会、ドライブ (ちづちゃんの花畑)
6月	誕生会、ドライブ (ルピナス)、ドライブ (紫陽花)
7月	誕生会、そうめん流し、ドライブ (向日葵)
8月	誕生会、ミニ夏祭り
9月	誕生会、敬老会、火災避難訓練
10月	合同災害避難訓練、誕生会
11月	誕生会
12月	誕生会、クリスマス会
R5. 1月	誕生会、初詣 (弥勒寺)
2月	誕生会、節分、案山子ドライブ
3月	誕生会、花見

IV.他事業所及び地域との連携

- ・在宅での生活を整えるため、ご利用者毎のサービス担当者会議に参加し、利用時の様子やご自宅での様子から必要なサービスの提案やサービス内容の変更等、ご家族・ケアマネジャー、その他の専門職と連携して在宅生活の支援に努めました。
- ・地域ミニデイの再開を目指していましたが、新型コロナウイルス感染状況により再開することができませんでした。

V.人材育成と資質・専門性の向上

(施設外研修)

日程	研修名
6月1日	姫路市監査指導課 社会福祉施設指導監査説明会 (WEB)
7月13日	県事業協会 認知症介護基礎研修 (Web)
7月22日	姫路市老施連第一回職員研修会 (感染症対策)
7月27日	県老事業 調査研究委員会研修会(Web)
7月28・29日	姫路市消防局 甲種防火管理者研修
8月26日	県高齢政策課 高齢者福祉施設におけるコロナ対応に関する研修 (WEB)
9月8日	姫路市地域包括支援課 事例検討会
9月20日	県社協 管理職研修 (Web)
9月27日	西はりま障害者雇用促進のつどい
1月24日	厚生労働省 ケアプランデータ連携システム説明会 (WEB)
1月27日	姫路市老施連 介護報酬研修会

2月10日	県老事協 デイ部会「職員・管理者研修会」(WEB)
3月13日	兵庫県 介護保険サービス事業者に対する集団指導 (WEB)
3月20日	姫路市監査指導課 ハラスメント防止研修 (WEB)

※外部研修は概ねWEB研修となり、参加しやすい環境となりました。積極的に参加し、新たな情報や知識を収集するように取り組みました。

(施設内研修)

研修月	研修名	担当
4月	倫理法令順守について	副主任
5月	緊急時の対応方法について クレーム対応について	副主任 相談員
6月	感染症・防災対策について	相談員
7月	感染症について	看護師
8月	認知症ケアについて 新型コロナウイルス感染症	副主任 相談員
9月	食中毒について	副主任
11月	ハラスメント対策について	相談員
12月	リスクマネジメントについて	介護職
R5. 1月	高齢者虐待の防止と身体拘束について	介護職
2月	サービス提供マニュアル作成と見直し	介護職
3月	機能訓練の効果と必要性	機能訓練指導員

※上記以外に法人全体でのハラスメント研修、感染症や自然災害の研修、訓練(シュミレーション)により感染対策の強化、業務継続に向けた取り組みの強化など実施しています。

VI.健康管理と感染症対策について

- ・来所時のうがい、手洗い、消毒、検温確認の徹底を図り、体調不良者へは利用を控えていただく等の対応により、細菌の持ち込まないように職員・ご利用者共に徹底しましたが、11月1日から11月3日にかけて利用者4名、職員1名が新型コロナウイルスに感染しました。そのため11月4日から11月6日のまで事業休止を行い、まん延防止の対応を行いました。(姫路市介護保険課からの助言あり)
- ・ご利用者の病歴を都度確認し、利用中の様子に留意し少しの変化にも気付けるように介護職と看護職が協働しました。また、早期に受診を勧めることで入院に至らないケースもありました。

令和4年度

事業報告書

居宅介護支援事業所 しらさぎ在宅介護支援センター

1 サービス提供計画 について

- ① 個別的な心身の状況に応じて、自立支援を目指し、自宅での生活が継続できるように支援を行いました。
- ② ケアマネジメントは、ご利用者やご家族の希望に基づき、心身の状態の維持、向上ができるように、PDCAのサイクルの下で支援を行いました。
- ③ 利用者の自己決定を尊重し、公正中立なケアマネジメントに努めました。
- ④ 特定事業所集中減算の対象とならないように、特定のサービス事業所に偏らないように留意しながら支援を行いました。

- ⑤ ご利用者やご家族の希望に沿うように、事業所ごとのサービス内容や特徴などをしっかり把握するための情報提供を行いました。
- ⑥ 困難ケースに対しては、その都度事業所内でケース会議を行い、必要に応じて、関係機関に相談して対応を行いました。利用者の権利擁護に留意し、高齢者虐待の防止ができるように、地域包括支援センターなどの関係機関に相談を行いました。

2 経営基盤充実のための取り組みについて

- ① 新規は、介護給付 58 件、予防給付 25 件ありました。法人の特養入所 16 件、死亡・長期入院 11 件、他施設入所 4 件で、合計 31 件の終了がありました。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染拡大で、デイサービスや施設等で、新型コロナウイルス陽性者の発生が増えました。担当利用者も、新型コロナウイルス陽性になり、長期入院や亡くなられたケースも目立ちました。サービス利用控えや同居家族に新型コロナウイルス陽性が出ると長期間デイサービスを利用休止されることも多く、法人のデイサービスの利用中止が増えました。
- ② 入退院が多く、入院が 38 件、退院が 47 件ありました。入院時加算、退院退所加算が算定できるように、必要な書類を整備しました。体調不良時や癌の末期で、自宅で最期まで過ごしたいと希望された方がおられ、自宅での看取りに関わらせて頂くことができました。令和 5 年度は、特定事業所医療介護連携加算が算定できる予定です。
- ③ 年間稼働率の目標を 90%に設定していましたが、稼働率は、前年度が 84.6%であったのに対し、令和 4 年度は、95.7%で、稼働率が上昇しました。稼働率が上昇した要因は、令和 4 年 3 月末に生きがいデイサービス事業が終了になり、介護保険でのデイサービスの利用希望があり、4 月に予防給付の新規が 13 件ありました。体調不良等で自宅での介護が困難となり、法人の特養への入所により利用終了となるケースも多かったですが、新規の依頼も多く、年間を通して稼働率が安定していました。
- ④ 月あたりの収入を 200 万円と設定していましたが、11 月・12 月・2 月のみ 200 万円を超えず、他の月では 200 万円以上の実績を上げ、年間稼働率は 95.7%、月平均の収入が 202 万円で、目標は達成できました。
- ⑤ 月平均の収入では、前年度が 195 万円で、特定事業所医療介護連携加算を算定できたことが要因であったと考えられます。それに対して令和 4 年度は、特定事業所医療介護連携加算の算定ができなかったため、年間稼働率は 95.7%と高かったものの、収入は前年度より大幅な増収には至りませんでした。令和 5 年度は、特定事業所医療介護連携加算の算定ができる予定です。3 月末に地域包括支援センターの委託が終了したことを受け、4 月から職員体制が 4 名から 5 名に増員になったため、予防給付も含め、新規を積極的に受け入れていきます。
- ⑥ 10 月末から 11 月の初めと 1 月は、新型コロナウイルス陽性の担当利用者が増え、入院されました。新型コロナウイルス陽性になり、長期間入院されていましたが、退院後は法人のショートステイの受け入れ調整ができ、4 件ショートステイの利用につながりました。体調不良などにより、自宅での生活ができなくなった方の中には特養の入所希望も多く、法人の特養への入所に繋げることができました。希望があれば他施設にもご紹介しました。
- ⑦ 新規利用者の確保のため、近隣の病院や他施設、地域包括支援センターなどに対し、空き情報を定期的に伝え、新規利用者の紹介を頂くことができました。安定した事業所運営を取り組むために、新規の依頼時や介護相談などがあつた時は、迅速に対応するように努力し、安心して紹介して頂ける居宅介護支援事業所を目指しました。事業所からの新規の紹介が増え、全体の新規の受け付けが増えたこともあり、稼働率の向上に繋ぐことができました。

新規利用者 受け付け

申込先	令和3年度	令和4年度
ご家族、本人	28	23
書写林田地域包括支援センター	8	7
大白書地域包括支援センター	7	10
病院	3	4
事業所	6	24
合計	52	68

ケアプラン作成件数 予防給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援受託	42	44	43	46	45	45	42	46	41	46	44	40	524

3 連携の強化について

サービス事業所事業所との連携については、サービス担当者会議等で、情報共有に努めました。入院、退院時には、主治医や病院の連携室の担当者と、情報提供や情報交換を行い、支援内容などについて意見を求め、在宅での生活を安心して送ることができるように支援しました。

対応困難なケースは、地域包括支援センターなどの関係機関にも相談していきました。また併設の特別養護老人ホームしらさぎの里やデイサービスセンターしらさぎとも連携し、早期解決を目指しました。

4 介護支援専門員としての質の向上について

- ① 特定事業所加算の算定事業所として質の高いケアマネジメントの実践に努めました。
- ② 事業所内では、週1回のケース検討会議、月1回の勉強会を実施しました。外部研修では、新型コロナウイルスの感染拡大時期でもあり、参加を控えることもありましたが、オンラインを活用し、職員のスキルアップや資質の向上を図りました。
- ③ 他法人の居宅介護支援事業所と共同事例検討会や勉強会を行い、情報交換等を行い、知識を深めるとともに、情報収集につなげました。
- ④ 介護保険制度やインフォーマルサービスについても情報を深め、新しい情報を会議等で共有し、ご利用者やご家族にも情報提供できる体制を築きました。

令和4年度 外部研修

開催日	研修名称等	開催場所
7月22日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント会議	ウエルカムハウスワン
9月13日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント会議	ウエルカムハウスワン
11月15日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	ウエルカムハウスワン
R5年1月19日	ケアマネジメント力向上会議	WEB 研修
1月24日	厚生労働省ケアプランリーダー連携システム説明会	WEB 研修
2月15日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント会議	ウエルカムハウスワン
3月2日	姫路市老健連 ケアマネジャー研修会	WEB 研修
3月13日	兵庫県介護保険サービス事業所等に対する集団指導	WEB 研修
3月20日	姫路市監査指導課 ハラスメント防止研修	WEB 研修

令和4年度 事業所内研修

開催日	研修名称等
令和4年4月11日	ハラスメントについて
5月2日	高齢者虐待について
7月6日	ヤングケアラーについて
8月8日	権利擁護について
9月6日	高齢者の運転免許と認知症の関係について
10月29日	災害時における介護支援専門員の役割について
11月1日	法令順守について
12月19日	高齢者のお薬の知識について
12月1日	認知症について・認知症初期集中支援チームについて
令和5年1月10日	糖尿病と褥瘡について
2月3日	地域包括支援センターと関わりや地域ケア会議について
2月10日	ツカザキ居宅と共同事例検討会「ヤングケアラーの支援について」
3月6日	メンタルヘルスケアについて

5 地域との交流と連携について

- ① 年3回、アットホーム林田しらさぎにおいて、しらさぎ地域交流講習会の開催計画を立てていましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大した時期があり、開催するタイミングが難しくはありましたが、令和4年7月12日に「低栄養を防ぐ、栄養の足し算を知る」令和5年1月14日には「お手軽健康体操で心も身体もリラックス」の内容で、年間2回開催することができました。土曜日に開催するなど、地域の方が参加しやすい条件を整え、地域の方の交流の場を提供できるようにしました。また地域交流の場を活用し、地域とのつながりを築くための取組を行いました。
- ② 地域の相談窓口として、2ヵ月に1回、六九谷公会堂のふれあい喫茶を訪問していましたが、10月に法人の特養で新型コロナウイルスが発生したため、感染予防のため参加を控え、令和4年度の参加機会は、1回のみとなりました。新型コロナウイルスの影響もあり相談窓口を開きましたが、人数制限や感染予防によりスペースの確保が困難となり、今後は開催が困難となる見込みです。
- ③ 介護保険や施設入所に関する相談には、介護支援専門員の専門知識を活かした相談対応を行い、何よりも相談者の不安軽減につなげることに留意しました。必要時には、地域包括支援センターなどの関係機関や法人の特養やデイサービスとの連携により素早く対応し、「地域に根差した総合福祉相談」を実践しました。

6 感染症や災害への対応力強化について

- ① 感染症及び災害発生時においては、事業継続計画（BCP）に基づき、衛生用品や防護用具防具用具等の備蓄ができていくか、定期的に確認していきました。
- ② 新型コロナウイルスや大雨や雪の影響などで、法人の特養やデイサービス、他事業所においても営業中止や受け入れを控える傾向もあったため、独居や日中家族が不在の利用者には、その都度ご家族様に連絡して、デイサービスや訪問介護などのサービスが継続利用できるように調整しました。
- ③ 法人主催の避難訓練や防災訓練に参加し、緊急時に対応できるように、事業所内でも研修を行い、知識を高めることができました。
- ④ 感染症予防対策として、入社前に健康チェックを行い、入社可否を確認し判断しま

した。訪問が多い業務のため、施設内に持ち込まないように、手洗いや消毒等を十分に行い、健康管理もしっかり行いました。ご利用者やご家族に対しても、訪問時間の調整や自宅内でのサービス担当者会議開催時は、参加人数を減らし、書面での対応やオンラインを活用して、徹底した予防に努めていきました。

- ⑤ 感染症や災害が発生した場合には、介護サービスが継続的に利用できるように、法人の事業所や他事業所とも、日頃から連携していき、緊急時にも、利用可能な事業所情報を収集し、また社会資源ができるように、連絡体制を整えました。

令和4年度

事業報告書

姫路市大白書地域包括支援センター

1 職員体制（令和4年4月1日時点）

- ・統括責任者...1名（兼任） ・保健師等...1名 ・社会福祉士...1名
- ・主任介護支援専門員...1名 ・認知症担当...1名 ・指定介護予防支援従事者...2名

【欠員】社会福祉士...令和4年9月～令和5年3月（7ヶ月）

2 活動実績

※（ ）内は昨年度実績

1）相談総数（件）

電話	来所	訪問	会議	文書・メール	合計
816件 (571)	210件 (138)	191件 (148)	13件	15件 (6)	1245件 (863)

2）相談者総数（件）

本人	家族	行政機関 (市役所)	行政機関 (警察)	ケアマネ	サービス 事業所	医療機関	他の関係 機関	民生委員	地域団体
278件	474件	120件	20件	206件	122件	144件	40件	56件	9件

3）相談内容（重複計上あり）

区分		件数
一般相談	介護予防に関すること	7件
	介護相談	854件（うち介護離職 2件）
	医療・健康相談	154件
	生活相談	222件
認知症に関すること		150件
権利擁護関係	虐待	39件
	消費者被害	0件
	成年後見等	12件
その他		95件

ケアマネジメント支援	57 件
計	1590 件

4) ケース検討会（地域ケア会議の開催）... 13 件

電話・来所・訪問、文書・メール全ての手段による相談が増え、ケア会議の開催につながる支援困難ケースが 13 件と比較的多かった。

本人及び家族からの相談が最も多く、件数としては昨年度比 100 件増加。行政からの相談は市役所で 90 件増加し、警察で 15 件増加。その他、ケアマネや医療機関からの相談も目立ち、各種機関・専門職との連携やコーディネート機能が求められました。

3 介護予防ケアマネジメントに係る活動介護予防普及啓発事業

① いきいき百歳体操の活動支援...18 ヲ所

白鳥：柴崎公民館、川西台公民館、実法寺総合センター、

西市民センター健康増進室（健康作りの会、）コープつどい場

太市：丸山公民館、相野公民館、石倉公民館

青山：青山東集会所、西夢前台 1・2 公民館、人丸神社、青山苑、青山西公民館、青山公民館、青山北公民館、教専寺、一般民家

② 認知症サロン 2 ヲ所

白鳥：はつらつ夢クラブ、健康づくりの会、マンデーサロンの会

③ 認知症サポーター養成講座（2 ヲ所）

健康づくりの会（2 回）

④ 自主活動グループの活動支援

⑤ 男性介護者のつどい：毎火、西保健福祉 S C の相談室にて開催

介護者と地域包括支援センター職員で情報交換や相談会を実施。（年 8 回）

⑥ 講座開催

- ・いきいき相談室（実法寺総合センター）年 2 回
- ・白鳥公民館講座 年 2 回 ・青山公民館 年 1 回

⑦ シルバーヘルパー研修（太市） 令和 4 年 12 月 5 日実施

⑧ 生活・介護支援サポーターの活動支援

在宅訪問による活動...2 件

⑨ ふれあい食事会...白鳥校区 年 3 回

介護予防普及啓発事業としていきいき百歳体操や認知症サロン等公民館講座開催。

介護予防支援に係る実績 ※（ ）内は前年度

自前プラン総件数	委託プラン総件数	新規利用者件数
2101 件 (2455 件)	1762 件 (1016 件)	150 件 (100 件)

4 包括的継続的ケアマネジメント

①ケアプラン研修会の開催（年間4回）

	テーマ
第1回 (7月22日)	①ケアマネジャーの価値・倫理 「説明責任」 ②インフォーマル資源について ③「かかりつけ医連携連絡票」一部変更
第2回 (9月13日)	①ケアマネジャーの価値・倫理 「自立支援」 ②インフォーマル資源について 「ADL悪化による生活の困りごと」 講師：オムツフitter黒田氏・訪問鍼灸マッサージ師佐藤氏 ③情報提供等 「かかりつけ医連携連絡票」の一部変更 「SOSネットワーク、認知症初期集中相談」
第3回 (11月15日)	①ケアマネジャーの価値・倫理 「地域包括ケアシステムの推進」 ②インフォーマルサービス「災害時について」 講師：姫路市危機管理室係長 土井氏
第4回 (2月15日)	①ケアマネジャーの価値・倫理 「利用者の権利擁護」 ②インフォーマルサービス「地域活動について」 ・社協の地域活動についての説明 ・認知症サロンといきいき百歳体操

②地域包括支援センターだより『ほうかつ新聞』の回覧、配布（毎月15日発行）

目的...地域の活動に対する理解、協力、連携、情報の周知、啓発・注意喚起等
配布場所... 以下のとおり

各小学校区（白鳥・青山・太市）の地域各種団体、社会資源など

自治会長・自治会役員・民生委員・老人クラブ連合会長

老人クラブ会長、各町の公民館、金融機関、医療機関など

各種サービス事業所

特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、ケアハウス

小規模多機能、グループホーム、居宅介護支援事業所など

その他 自立活動グループ、いきいき百歳体操、認知症サロン参加者など

6 職員の資質向上のための取組み

1) 姫路市が開催する連絡会及び研修会への参加

- ・社会福祉士 （連絡会3回・うち1回は研修会）
- ・主任介護支援専門員（連絡会3回・うち1回は研修会）
- ・保健師等 （連絡会3回・うち1回は研修会）
- ・認知症担当 （連絡会3回）
- ・管理者連絡会 （4回）
- ・準基幹圏域連絡会（3回）
- ・準基幹圏域認知症担当の連絡会（3回）

- ・ケアマネジメント力向上会議（計8回）

2) 広域的に開催される連絡会及び研修会（外部研修会等）への参加

- ・令和4年度集団指導（1回）WEB
- ・西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会総会（1回）
- ・西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会役員会（3回）

3) 内部研修会の開催

開催月	研修テーマ
4月	個人情報・プライバシーの保護について
5月	倫理と公正中立性の確保について
6月	法令遵守について
7月	認知症の予防と対策について
8月	地域包括ケアについて
9月	権利擁護について
10月	高齢者の健康管理と栄養について
11月	生活支援体制整備事業について
12月	医療と介護の連携について
1月	ケアマネジメント力の向上について
2月	高齢者虐待防止とその対応について
3月	住み良い住環境づくりについて

8 その他

- ・定例会議 毎月開催（毎月、事業計画の進捗状況の振り返り及び方針検討）
- ・苦情解決委員会 偶数月・年間6回（年間の苦情相談発生件数 2件）
- ・運営推進会議 グループホーム...各2か月に1回
（サザンツリー、サンホーム青山）
- ・運営推進会議 小規模多機能ホーム...各2か月に1回
（さかい）
- ・運営推進会議 地域密着型通所介護事業所（順次）
- ・看護学生の実習生受け入れ...姫路赤十字看護専門学校（5回 名）
- ・看護学生の実習生受け入れ...国立姫路医療センター附属看護学校（2回 名）
- ・社会福祉士の実習受け入れ...大阪国際福祉専門学校（1名）
- ・姫路市 地域包括支援センター実地指導監査（12月19日）

令和4年度 施設外研修参加一覧	
日付	研修内容
4/13	西播磨地域包括在介協第1回役員会
4/14	姫路市老施連第1回役員会
4/18	地域包括支援センター連絡会総会
4/19	姫路市 社会福祉法人運営説明会
5/11	県老事協 第1回研修委員会
5/13	姫路市老施連 第1回総会
5/16	姫路公共職業安定所 新規学卒者対象求人取扱説明会
5/20	姫路市社協 理事会
5/23	姫路市在宅医療・介護連携支援センター研修検討委員会
5/23	県地域包括在宅介護支援センター協議会 包括職員としての基本を学ぶ
6/1	姫路市監査指導課 社会福祉施設指導監査説明会
6/3	兵庫県公安委員会 安全運転管理者講習
6/6	姫路市老施連 役員会
6/3	安全運転管理者講習
7/5	姫路市社協総会
7/11	第1回地域包括支援センター管理者連絡会
7/12	西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会 R4年度総会・研修会
7/13	県事業協会 認知症介護基礎研修
7/14	姫路市地域包括支援課 参加ポイント事業説明会
7/15	西播介護サービス事業者連絡会 3部会合同勉強会
7/20	地域包括支援センター連絡会 認知症担当職員等連絡会
7/21	地域包括支援センター連絡会 保健師看護師連絡会
7/22	第1回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修
7/22	姫路市老施連第1回職員研修会 (感染症対策)
7/27	県老事協 調査研究委員会研修会
7/28・29	姫路市消防局 R4年度第3回甲種防火管理新規講習
7/29	姫路市地域包括支援課 障害介護連携研修会基礎編
7/29	姫路市監査指導課 社会福祉法人運営研修
8/4	県老事協 第2回研修委員会
8/17	地域包括支援センター開設希望法人募集に関する説明会
8/18	地域包括支援センター新任期職員研修
8/19	姫路市地域包括支援センター連絡会 研修会
8/22	姫路市老施連役員会
8/24	姫路市監査指導課 感染症対策研修 (管理者研修)
8/24	第1回城乾東光準基幹地域包括支援センター圏域連絡会
8/26	県高齢政策課 高齢者福祉施設におけるコロナ対応に関する研修会

5/28 他 5 日	県介護福祉士会 たんの吸引実地研修
9/8	市地域包括支援課 事例検討
9/9	西播磨総合リハビリテーションセンター 認知症ケアにおけるリフレーミング研修
9/12	ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰審査会
9/13	第2回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修
9/20	県介護支援専門員協会姫路支部 施設ケアマネ計画作成担当者研修
9/20	県社協 管理職研修
9/22	市老施連 第2回職員研修会 (管理栄養士)
9/27	西はりま障害者雇用促進のつどい
10/7	県老事協 職員研修会
10/18	生涯現役社会ワークショップひょうご2022に係る事例発表
10/20	兵庫県経営協 10月例会
10/27	県老事協 介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修
10/27 他	介護支援専門員更新研修A
11/2	R4年度西はりま新規高校卒業者求人企業説明会
10/20.他	県介護福祉士会 介護福祉士実習指導者講習会
10/20.11/11	ケアプラン基礎研修会
11/15	県老事協 介護の日イベント
11/15	第3回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修
11/21	姫路市保健福祉政策課 姫路市社会福祉大会市長表彰式典
11/24	姫路市老施連 施設長研修会
11/30	姫路公共職業案退所 エール姫路2就職説明会・面接会
12/6	姫路市老施連役員会
12/10	ひょうご仕事と生活センター WEB企業魅力発信フェア
12/14	地域包括支援課 介護予防推進プロジェクトによる実績報告の活用
11/22	ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰式
12/16	県経営協 法人経営トップセミナー
1/7	県社協 R5年度新年福祉の集い
1/13	姫路市 介護施設における感染予防対策研修
1/13	姫路市監査指導課 労務管理研修
1/17	県老事協 第3回研修委員会
1/18	姫路ハローワーク ひょうご新規大卒者対象就職面接会
1/19	包括センター参加ポイント事業説明会
1/19	ケアマネジメント力向上会議
1/23	県老事協 施設長研修会
1/24	厚生労働省 ケアプランデータ連携システム説明会
1/26	県経営協 R4年度 県経営協セミナー
1/27	姫路市老施連 新年意見交換会
1/27	姫路市老施連 介護報酬研修会

1/30	県老事協 地域サポート施設 R5 年度募集要項説明会
2/1	県老事協 認知症介護基礎研修
2/3	姫路市監査指導課 社会福祉法人会計研修
2/8	兵庫県認定調査員研修
2/10	県老事協 デイ部会 「R4 年度職員・管理者研修会」
2/13	全国経営協 社会福祉法人会計実務者決算講座
11/1～配信	全国社協 社会福祉法人会計基準実践基礎講習
2/15	モルテンオンラインセミナー
2/15	第 4 回西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修
2/15	姫路市老施連 役員会
2/20	西播磨地域包括・在宅介護支援センター役員会
3/1	兵庫県主催 社会福祉法人研修会
3/2	姫路市老施連 ケアマネージャー研修会
3/2	姫路市老施連 第 2 回総会
3/13	兵庫県 介護保険サービス事業者等に対する集団指導
3/17	第 3 回学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会
3/20	姫路市監査指導課 ハラスメント防止研修
3/20	県老事協 第 2 回青年部会総会
3/29	姫路市 R4 年度包括委託契約等の精算等の説明会
3/30	全国経営協 R4 年度高齢者福祉事業経営セミナー

令和 4 年度ボランティア活動実績					
活動日時		活動内容	部署	活動人数	
令和 4 年	11 月 20 日	クリスマスツリー飾りつけ	特養	3	名
	2 月 19 日	ひな人形飾りつけ	特養	6	名
	参加ボランティア：団体（ 1 団体） 延 活動回数： 2 回 延 活動人数： 9 名				